

I. 広東省

1. 国家海洋第5監督・査察チームが広東省で監督・査察

●19日、李希・省党書記、馬興瑞・省長が林山青・国家海洋局長率いる第5監督・査察チーム一行と会談。李書記は、同チームには広東省の業務に対する多くの貴重な意見を出していただき、我々はその問題をしっかりと捉え、改善を実行していきたいと述べた（11月21日付『南方日報』）。

●20日、国家海洋第5監督・査察チームが広東省の業務にかかる動員会議を開催し、林山青・同チームリーダー、馬興瑞・省長が出席するとともに講話を行なった。鄧海光・副省長が同会議を主宰。（11月21日付『南方日報』）。

2. 李希・省党書記、馬興瑞・省長による海外要人との会談

●20日、馬興瑞・省長が許勝雄・理事長率いる台湾工業総会訪問団一行と会談し、次のように述べた。同総会には引き続き架け橋としての役割を果たし、広東・香港・マカオ・ベイエリア建設のチャンスをつかみ、広東省の現代的経済システムの構築に積極的に参加し、同省の開放型経済体制の構築をサポートしていただき、ウィンウィンの発展を実現してもらいたい（11月21日付『南方日報』）。

●21日、李希・省党書記が在中国太平洋諸島国使節団一行と会談し、次のように述べた。習近平・総書記が21世紀海のシルクロード・イニシアチブを提示し、広東省と太平洋諸国との協力に大きなチャンスがもたらされた。同省は同諸国との交流を更に強化し、経済・貿易、海洋・漁業、人と文化・観光等の分野における実務的協力を更に強化し、ウィンウィンを実現していきたい（11月22日付『南方日報』）。

●20日、馬興瑞・省長が2015年に友好都市を締結したイタリアのエミリア=ロマーニャ州知事一行と会談し、次のように述べた。同州の機械、自動車工業の技術は世界トップレベルであり、フェラーリ、マセラティ等のブランド車は同州から来ている。広東省の自動車産業はすでに産業システムがかなり整っており、両地域の協力の余地は大きいので、経済・貿易、工業、農業、中小企業、食品の安全等の分野における交流・協力を強化し、その協力を更に一段階上のステージに押し上げていきたい（11月22日付『南方日報』）。

●21日、馬興瑞・省長が在香港外国領事団・商工会・メディア連合訪問団一行と会談し、次のように述べた。より多くの外国企業には香港を拠点に中国本土との協力を更に深めていただき、また、より多くの本土の企業が香港を「海外進出（走出去）」のプラットフォームとし、交流・理解を増進させ、よりいっそう協力の機会を発掘し、区域内の協力を絶えず深めていきたい（11月22日付『南方日報』）。

3. 広東省の監督・査察体制改革を深めるパイロット業務グループによる第1回会議の開催

●21日、李希・省党書記主宰の上記会議が開催された。同会議の主な任務は、第19回党大会の精神、習近平・総書記による新時代の中国の特色ある社会主義思想を深く学習・貫徹し、国家監督・査察体制改革の深化に関する党大会及び党中央の政策決定・手配に基づき、思想・認識を統一し、業務・要求を明確にし、責任をもって業務を実行し、全省で同改革のパイロット業務を着実かつ効果的に推進することである。李書記が講話を行い、李玉妹・省人代主任等が出席（11月22日付『南方日報』）。

4. 順豊がアリババ系のオークションで貨物機2機を落札

●21日、深圳市中級人民法院の指導の下、アリババ傘下のタオバオ（淘宝网）のネットオークションでボーイング747型貨物機3機が競売にかけられ、順豊速運（SFエクスプレス）が3.2億円で2機を落札した。中国のネットオークションによる民間航空機の落札は初となる（11月22日付『南方日報』）。

5. 海豊・陸豊ソビエト政権樹立90周年記念座談会の開催

●21日、省党委員会、省政府の同意の下、汕尾市党委員会、同市政府、省党史研究室が海豊県で上記座談会を開催した。同座談会では彭湃をはじめ、かつて革命に命を捧げた烈士の偉大な功績を心から追想し、海豊・陸豊革命闘争の輝かしい歴史的道程を振り返り、全市の幹部・民衆が初心を忘れず、使命を銘記するよう激励し、新たな時代に古くからの革命の地で新たな輝きを共に作りだしていくことを確認した。徐向前元帥の息子である徐小岩・將軍、中国老区建設促進会副会長の李広文・將軍、陳開枝・中国老区建設促進会会長（元広州市常務副市長）、黃旦群・將軍（元少将）、蔣建農・中央党史研究室第一部主任、楊建偉・省党史研究室主任等200人余りが出席（11月22日付『南

方日報』)。

※海豊・陸豊ソビエト政権：第1次国共内戦期、中国共産党が指導する革命の根拠地となった政権。所在地は現在の汕尾市海豊県・陸豊市一帯。

6. 2017バイエリア経済発展国際フォーラムの開催

●21日、仏山市南海区で上記フォーラムが開催され、トーマス・サージェント教授（2011年ノーベル経済学賞受賞）、ジャイルズ・チャンス教授（ダートマス大学）、裴長洪・中国社会科学院経済研究所研究員、王仁曾・華南理工大學中国金融市場研究センター主任、林江・中山大学嶺南学院経済学部教授等、国内外の学者、世界トップ500企業の有識者、朱偉・仏山市長等が出席し、広東・香港・マカオ・バイエリアの経済発展の道について議論した。裴研究員は「国際機関の予測では、同バイエリアの経済規模はすでにNYバイエリアに近づいており、現在の成長スピードであれば、5年以内に東京バイエリアの規模を抜く見込みで、経済規模が世界第1位のバイエリアになると見られている」と述べた（11月22日付『南方日報』）。

7. 省ビッグデータ開発者大会・2017雲栖大会広東分科会の開催

●22日、広州市で上記大会・分科会が開催され、袁宝成・副省長、胡晓明・アリババ・クラウド総裁が出席するとともに挨拶を行なった。同大会・分科会にはクラウド・コンピューティング、AIのエンジニア1000人が招かれ、胡総裁は将来的に広東省に研究開発センターを設立すると述べた（11月23日付『広州日報』、『深圳特区報』）。

※雲栖大会：アリババグループのクラウド部門が毎年開催する最大のイベント、カンファレンス。本年は10月11日～14日、杭州市で開催され、日本からはソフトバンクとアリババグループの合併会社であるSBクラウド、日立コンサルティング・チャイナ、パナソニック・インフォメーションシステムズ上海が出展した。

8. 李希・省党書記、馬興瑞・省長が上海市政府代表団一行と懇談

●22日～23日、応勇・上海市長率いる上記代表団が広東省を訪れ、深圳市を視察し、自貿区の深化、科学技術イノベーションセンターの建設にかかる業務の進捗状況を視察。同期間中、李希・省党書記が業務交流座談会を開催し、同代表団と共に広東省と上海市の相互学習、共同発展について意見交換を行い、馬興瑞・省長が講話を行なった（11月24日付『南方日報』）。

9. 鄧海光・副省長がドイツ・バイエルン州食品・農林大臣一行と会談

●23日、鄧海光・副省長がドイツ・バイエルン州食品・農林大臣一行と会談し、次のように述べた。広東省とバイエルン州は2004年に友好省・州関係を締結して以来、ハイレベルによる相互訪問が絶えず行われており、経済・貿易、教育、科学研究、人と文化等の分野における往来も密接になっている。双方は農業部門の連絡メカニズムを構築し、農業技術での協力を推進していくことができる。両地域の農産物は補完性が強いいため、次は各種プラットフォームを十分に利用し、双方の企業のインタラクティブを積極的に促進させ、農産物の貿易を更に拡大していくことを提案する（11月24日付『南方日報』）。

10. 陳雲賢・省政府党組織メンバーが日本経済界代表団一行と会談

●24日、陳雲賢・省政府党組織メンバー（元副省長）が志賀俊之・日産自動車会長率いる上記代表団一行と会談し、次のように述べた。現在、広東省は広東・香港・マカオ・バイエリア、広東自貿区の建設に力を入れて取り組んでおり、東京バイエリアは成熟した経験を有しており、将来的に両地域は往来を強化し、経済・貿易における協力・交流を強化・推進していくことができる。同省は自らの資源・強みを発揮し、日本の経済界との交流・協力を拡大していきたい（11月25日付『南方日報』）。

11. 袁營柏・南部戦区司令官がミャンマー国防軍総司令官一行と会談

●25日、袁營柏・南部戦区司令官がミン・アウン・フライン・ミャンマー国防軍総司令官一行と会談。董軍・同副司令官、陳道祥・同副参謀長、李斌・同参謀長補佐も同席。袁司令官は次のように述べた。近年、中国とミャンマー両軍はハイレベルによる往来、システムティックな協議、人材育成・訓練、国境防衛協力等の各分野で積極的な進展があり、両軍関係の発展の趨勢は良好である。双方の努力を通じて、より安全かつ安定した国境エリアの環境を構築することで同エリアの経済・社会の発展を促進し、両国の繁栄・発展という美しい未来に貢献していきたい（11月26日付『南方日報』）。

II. 広州市

1. 川上晋平・福岡市議会議長一行が広州市を訪問

●19日～22日、陳建華・市人代主任の招きを受け、川上晋平・福岡市議会議長率いる11人の訪問団一行が広州市を訪問し、19日晚、唐航浩・市人代副主任が一行を招宴した。20日午前、李小勉・市人代副主任が一行に向けて、同市の経済・社会発展状況、市人代の業務状況を紹介し、両市の友好関係38年の歴史を振り返った。福岡市は広州市にとって1番目の国際友好都市である（11月21日付『広州日報』）。

2. 広州市が「禁酒令」を発表

●20日午後、広州市紀律検査委員会監察局が記者会見を行い、「禁酒及び飲酒を控える業務に関する市党風紀・クリーンな政治構築指導グループの通知」が近々発表・施行されることを明らかにした。これにより、公務員の公務中の飲酒は制限されることになる（11月21日付『広州日報』）。

3. 2017中国工業インターネット大会の開催

●21日午前、「工業のインターネット、スマート製造への転換」をテーマとする2017中国工業インターネット大会が開幕し、馬興瑞・省長が開幕式に出席するとともに、ブースを視察した。陳肇雄・工業・情報化部副部長、袁宝成・副省長が開幕式で挨拶。温国輝・市長も出席（11月22日付『広州日報』）。

4. 第1回新素材・遺伝子プロジェクト・ハイレベルフォーラムの開催

●22日、任学鋒・市党書記が上記フォーラムに出席した乾勇・中国工程院院士をはじめとする国内外の院士、専門家代表と懇談した。同フォーラムで、広州市は2020年までに新素材産業の生産総額4000億元突破を目指すことが示された（11月23日付『広州日報』）。

5. 2017広州国際イノベーション・フェスティバルの開催

●24日、任学鋒・市党書記が上記フェスティバルに出席するため広州市を訪れた来賓代表と懇談した。イスラエルの投資家で「起業の祖」として著名なヨシ・ヴァルディ博士、マナ・グプタ Brinc.io CEO、スコット・アミックス Amyx+創始者兼CEO、ジョナサン・ルーアンMIT・AI研究者兼ダブリン大学教授等が出席（11月25日付『広州日報』）。

※ヨシ・ヴァルディ氏：インスタント・メッセージのパイオニア製品であるICQを手がけたミラビリス社の創業者で投資家。ミラビリス社は1998年にAOLに買収され、2010年にロシアのデジタル・スカイ・テクノロジーズに売却されている。

※Brinc.io：IoTに特化したグローバル・アクセラレータ。2014年に設立、ビジネス拠点は香港。

※Amyx+：ウェアラブルデバイスとIoTの戦略立案とその実行を手がける会社。

●25日、上記フェスティバルが開幕し、世界30以上の国・地域からイノベーション分野の専門家が広州市に集まり、イノベーション・科学技術をいかにして日常生活に取り込むかについて検討した。開幕前に、温国輝・市長がヨシ・ヴァルディ博士をはじめとする来賓と意見交換を行うとともに、イノベーション成果展を見学（11月26日付『広州日報』）。

III. 深圳市

1. 陳如桂・市長がタタール共和国大統領一行と会談

●18日午前、陳如桂・市長がムスタフ・ミニハノフ・ロシア連邦タタール共和国大統領一行と会談し、双方は次のように述べた。中国、ロシア両国元首が合意した重要なコンセンサスを真剣に貫徹・実行し、「一帯一路」イニシアチブという重要なチャンスをつかみ、更に密接な交流を行い、互いの強みを補完し合い、経済・貿易、教育、科学技術、文化、観光等の分野における実務的協力を絶えず深め、ウィンウィン、イノベーションによる発展を実現し、中露の戦略的協力パートナーシップを全面的に深めることに積極的に貢献していく（11月19日付『深圳特区報』）。

2. 王偉中・市党書記による海外要人との会談

●20日午前、王偉中・市党書記が在香港外国領事団・商工会・メディア連合訪問団一行と会談し、市党委員会、市政府を代表し一行に歓迎の意を表するとともに、同市の経済・社会発展状況を紹介した。王書記は訪問団のメンバーには貴重な意見・提案をたくさん出し、同市が香港との協力を更に深められるよう手助けしていただき、各国・各地域との往来を密接に行い、「一帯一路」、広東・香港・マカオ・ペイエリアの建設により良く参加し、対外開放の質と水準を絶えず向上させていきたい（11月21日付『深圳特区報』）。

● 22日、王偉中・市党書記がバリー・マーシャル教授一行と会談。マーシャル教授は次のように述べた。深圳市が科学技術イノベーションを重視し、サポートしていることは印象深く、近年、バイオ医薬、生命・健康分野で目を見張るような進歩を遂げており、引き続き協力を強化し、バイオ医薬の基礎研究・イノベーションによる発展、産業の繁栄・発展を共に促進していきたい（11月23日付『深圳特区報』）。

※バリー・マーシャル教授：2005年ノーベル生理学・医学賞受賞。西オーストラリア大学教授。胃潰瘍の原因であるヘリコバクター・ピロリ関連の研究を継続中。

● 25日昼、王偉中・市党書記がゲレ・ジブチ大統領一行と会談。ゲレ大統領は次のように述べた。深圳市はほんの短い間に国際的な大都市に発展し、中国の改革開放の偉大な成功を示している。ジブチは地の利を十分に発揮し、「一帯一路」建設に積極的に参加し、誠意・包容力・活力のある協力関係を密接に築き、多分野における同市とのウィンウィンの協力レベルを向上させ、共に繁栄することを実現し、永遠に変わらぬ両国の友情を共に促進していきたい（11月26日付『深圳特区報』）。

4. 市幹部による海外要人との会談

● 24日、艾学峰・副市長が志賀俊之・日産自動車会長率いる上記代表団一行と会談。これは日本の三大経済団体による43回目の訪中であり、機械製造、エネルギー・科学工業、金融・保険、物流・交通等の主要企業の責任者250人余りで構成され、近年では最大規模の訪中団となった（11月25日付『深圳特区報』）。

● 24日、高自民・副市長がオーストリアのケルンテン州議会議長率いる電子・マイクロ電子業界代表団一行と会談。同議長は次のように述べた。同州は現在、アルプス・シリコンバレーを構築しており、深圳市は「アルプス・シリコンバレー中国ツアー」の最重要都市である。できるだけ早く同市の企業、関連協会・機関と関係を築き、情報技術産業のグローバルなイノベーションによる解決方法を共に探していきたい（11月25日付『深圳特区報』）。